平成２６年度

教育委員会の事務の点検及び評価に関する報告書

〈平成２５年度の実績〉

藤崎町教育委員会

目　次

§１　教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の実施について　1

§２　藤崎町教育委員会における点検・評価の取組について　2

§３　教育委員会の概要について　4

§４　教育委員会の活動状況について　5

§５　平成２５年度（平成２５年４月～平成２６年３月）重点施策の点検・評価　9

§６　教育に関する学識経験を有する外部の方の意見　21

§１　教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の実施について

（根拠）

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正（平成２０年４月施行）が行われ、新たに「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等」を行うことが義務付けられたことにより実施する。

（目的）

地方教育行政組織及び運営に関する法律第２７条の規定に基づき、効果的な教育行政の推進を図るとともに、町民への説明責任を果たすため、教育委員会が執行した事業について自ら点検・評価を行い、その報告書を議会へ提出すると共に、町民に公表するものである。

併せて、学識経験者の意見も踏まえ、点検・評価結果を次年度以降の施策の推進や改善に反映させることを目的とする。

（対象事業）

教育委員会が前年度（平成２５年度）策定した重点施策の１２項目に基づき実施した学校教育の充実や生涯学習の振興などの事務事業を対象とする。

【地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）】

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第２７条　教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一条の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

２　教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

§２　藤崎町教育委員会における
点検・評価の取組について

１．平成２５年度　藤崎町教育施策の方針

> 藤崎町教育委員会は、豊かな心と郷土に対する誇りを持ち、健康で、創造性に富み、新しい時代を主体的に切り拓く人づくりを目指し、
>
> ・個を生かし生きる力と夢をはぐくむ学校教育
> ・一人一人の学習と社会参加を実現する社会教育
> ・未来へ伝える貴重な文化財の保存・活用
> ・活力と感動を生み出すスポーツ
>
> を、青森県教育委員会、その他の関係機関・団体との連携を図りながら推進します。

２．点検・評価の対象となる事業

藤崎町教育委員会基本方針及び重点施策

〈１〉基本方針

「みんなで創る　心豊かな　優しいまち」を目指し、町民一人一人が、人間尊重の精神を基調として、心身ともに健康で創造力に富み、うるおいのある生涯学習社会の形成者として、広い視野を持ち、変動する社会に主体的に対応できる人づくりを目指す教育の向上に努める。

このため、自然を愛し、文化やスポーツに親しみ、社会における連帯の心をはぐくむ教育活動を重視し、学校、家庭、地域社会の緊密な連携のもとに生涯学習の推進に努める。

〈２〉重点施策

（１）確かな学力の向上
（２）人間尊重を基調とした道徳性の育成
（３）青少年の健全育成といじめの防止
（４）安全・安心で質の高い教育環境の整備
（５）国際化・情報化に対応する教育の推進
（６）人材育成・キャリア教育の推進
（７）生涯学習の推進
（８）生涯スポーツの推進
（９）学校・家庭・地域の連携強化による社会全体の教育力向上
（10）小中連携事業の推進
（11）芸術文化活動の推進
（12）歴史・文化の継承

３．対象となる期間

平成２５年度とする。

４．点検及び評価の実施方法

社会情勢の変化や施策の重要度、緊急度を総合的に勘案し、藤崎町教育委員会の重点施策に掲げた事業について、職員による自己点検と評価を実施した。

その手法については、「藤崎町総合計画（ふじさきプラン）」に準拠し達成度について、以下の基準によりＡ～Ｅの５段階で評価を行った。

なお、事業の内容・性格によっては、成果の判断が困難なものや達成状況の把握がしづらいものもあるが、事業が及ぼす効果ではなく、計画された事業をどの程度実施したかに基づいて各事業の評価を行った。

評　価　の　基　準

達　成　度	評　　価　　内　　容
A	実施計画に掲げた施策を達成した。 （ほぼ100％の成果を上げることができた）
B	実施計画に掲げた施策を概ね達成した。 （75％程度の成果を上げることができた）
C	現在、施策の達成に向けて動いている。 （半分程度の成果を上げることができた）
D	現在、施策の達成に向けて動き始めている。 （施策に着手し、動き始めることができた）
E	現在、ほとんど手をつけていない。 （施策に着手することができなかった）

５．学識経験を有する者の知見の活用

点検・評価について客観性の確保と、次年度以降の教育委員会の事務に活用するため、教育に関し学識経験を有する外部の方のご意見・ご提言等をいただいた。

鳴　海　　諄　氏　〔元県立高校教頭・元藤崎町教育委員長〕

鈴　木　政　治　氏　〔元藤崎中学校校長・前藤崎町教育委員長〕

６．点検・評価結果の公表等

町教育委員会における点検・評価終了後、その結果を取りまとめた報告書を町議会へ提出するとともに、町民へ公表する。

§３　教育委員会の概要について

教育委員会は、政治的中立性を維持しつつ、安定性・継続性を確保して教育行政を管理・執行するため、首長から独立した合議体の執行機関として設置されています。

藤崎町教育委員会は、町長が議会の同意を得て任命した５人の委員で組織されており、主な職務権限は次のとおりです。

・教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関すること並びに主要な教育施策の確立、変更及び実施に関すること。
・規則及び訓令の制定及び改廃に関すること。
・教育長及び職員の任免、分限及び懲戒に関すること。
・学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること。
・通学区域の設定及び変更に関すること。
・教育予算その他議会の議決を経るべき事件の議案についての意見申出に関すること。
・教科用図書の採択に関すること。
・附属機関の委員の任免、委嘱及び解職に関すること。
・教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること。

これらについて、教育委員会会議において審議しており、また教育委員会会議以外にも様々な活動を行っています。

※藤崎町教育委員会委員名簿（平成２６年３月３１日現在）

職　　名	氏　　名	就　任　月　日
委員長	田　澤　文　雄	平成２３年１２月１９日 平成２５年　６月１６日委員長就任
委　員	成　田　惠　子	平成２２年　６月１６日
委　員	横　山　岩　雄	平成２５年　６月１４日
委　員	浅瀬石　久仁子	平成２５年　６月１６日
教育長	武　田　　登	平成２３年１２月１９日 平成２３年１２月１９日教育長就任

教育長は、委員のうちから教育委員会が任命します。

教育長は、教育委員会の指揮を受けて教育委員会の権限に属するすべての事務の具体的な執行を行います。

この教育長の統括の下に事務の処理を行う組織として、事務局が置かれ学務課と生涯学習課が設置されています。

§４　教育委員会の活動状況について

１．教育委員会会議の開催状況及び審議内容

毎月１回「定例会」を開催し、随時「臨時会」を開催することができます。

平成２５年度は、定例会を１２回、臨時会を１回開催し、下表のとおりの議案について審議を行いました。

開催月日	種別	内　　容
4月4日 平成25年 第１回 臨時会	議案	藤崎町学区外就学許可基準について 藤崎町教育委員会委員の辞職の同意について
4月26日 平成25年 第４回 定例会	報告	人事異動について 専決事項の報告について 平成25年4月1日現在町立小中学校児童生徒在籍数について 平成24年度藤崎いきいき生活大学講座実績について 平成24年度図書館事業実績について 平成24年度常盤ふるさと資料館あすか事業実績について 平成24年度文化センター事業実績について 平成24年度社会体育事業実績について 平成24年度学校給食センター業務実績について 平成26年度使用小・中学校用教科用図書について 藤崎町小中学校修学旅行費補助金交付要綱の一部を改正する要綱について
	議案	藤崎町学校評議員の委嘱について
5月28日 平成25年 第５回 定例会	議案	平成25年度藤崎町一般会計（教育費）第2回補正予算案について 藤崎町学校給食運営協議会委員の委嘱について 藤崎町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の補助限度額の改正について
6月16日 平成25年 第６回 定例会	議案	藤崎町教育委員会委員長の選挙について 藤崎町教育委員会委員長職務代行者の選任について

開催月日	種別	内　　容
7月26日 平成25年 第７回 定例会	報告	入札結果について 専決事項について 臨時調理員の負傷事故発生について
	議案	藤崎町地区体育館条例を廃止する条例案 藤崎町地区体育館管理運営規則を廃止する教育委員会規則案 藤崎町学校給食食物アレルギー対応マニュアル案について
8月30日 平成25年 第８回 定例会	報告	入札結果について 施設整備計画の事後評価について
	議案	平成24年度藤崎町一般会計(教育費)決算について 平成25年度藤崎町一般会計(教育費)第3回補正予算案について 教育委員会評価委員の委嘱について
9月27日 平成25年 第９回 定例会	報告	入札結果について 専決事項について
10月29日 平成25年 第10回 定例会	報告	専決事項について 入札結果について 平成25年度教育委員会の事務の点検及び評価に関する報告書案について 常盤小学校蛍光灯用安定器破損事故に係るフォロー終了について
11月26日 平成25年 第11回 定例会	報告	入札結果について
	議案	平成25年度教育委員会の事務の点検及び評価に関する報告書案について＜平成24年度の実績＞ 平成25年度藤崎町一般会計(教育費)第8回補正予算案について 福舘公民館の指定管理者の指定について 榊公民館の指定管理者の指定について 福島公民館の指定管理者の指定について 福左内公民館の指定管理者の指定について

開催月日	種別	内　　容
12月25日 平成25年 第12回 定例会	報告	平成25年第4回藤崎町議会定例会について 専決事項について
	議案	藤崎町教育委員会表彰審議会委員の委嘱について 藤崎町学校給食センター管理運営規則の一部を改正する教育委員会規則案について
1月16日 平成26年 第１回 定例会	報告	平成25年度藤崎町教育委員会表彰審議会について
	議案	平成25年度藤崎町教育委員会表彰被表彰者案について 藤崎町社会教育委員の設置に関する条例の一部を改正する条例案 藤崎町青少年問題協議会設置条例の一部を改正する条例案
2月28日 平成26年 第２回 定例会	報告	入札結果について インフルエンザの罹患状況について 平成25年度藤崎町学力状況調査（活用）集計結果について
	議案	平成26年度藤崎町奨学基金奨学生について 平成25年度藤崎町一般会計(教育費)第10回補正予算案について 平成26年度藤崎町一般会計(教育費)予算案について
3月25日 平成26年 第３回 定例会	報告	専決事項について
	議案	平成26年度藤崎町教育委員会基本方針及び重点施策案について

２．教育委員会会議以外の活動内容

教育委員会では、教育委員会会議以外にも以下のような活動を行っています。

（１）町議会への出席

本会議、常任委員会等に出席し、必要に応じて答弁を行っています。

（２）各協議会への出席

青森県市町村教育委員会連絡協議会、南地方市町村教育委員会連絡協議会等の会員として、役員会や定期（時）総会に出席し、文部科学省や青森県教育委員会に対して文教施策に係る要望活動を行っています。

※各種協議会内容

開催月日	内　　容	場　所
4月8日	南地方市町村教育委員会連絡協議会総会	黒石市
4月10日	青森県市町村教育委員会教育長会議	青森市
4月10日	青森県町村教育長協議会定期総会	青森市
5月14日	青森県市町村教育委員会連絡協議会教育長会定期総会	青森市
5月23日	青森県市町村教育委員会連絡協議会定時総会	青森市
5月23日	平成25年度市町村教育委員会委員研修会	青森市
8月19日	南地方市町村教育委員会連絡協議会教育長部会	平川市
9月27日	南地方市町村教育委員会連絡協議会秋季研修会	平川市
10月25日	青森県町村教育長協議会研修会	青森市
11月8日	南地方市町村教育委員会連絡協議会教育長部会	弘前市
11月8日	中弘南黒平教育長会研修会	弘前市
11月13日	青森県市町村教育委員会委員長・教育長合同会議	青森市

（３）学校等の視察

教育現場の実態把握を目的として、町立学校等の所管施設の視察を行い、現場の職員と活発な意見交換を行っています。

視察日	視　　察　　施　　設
7月8日	藤崎中央小学校
7月9日	常盤小学校・明徳中学校
7月10日	藤崎小学校・藤崎中学校

（４）その他行事への出席

入学式・卒業式・立志式・成人式・表彰式等の式典及び各小学校運動会等の諸行事に出席しています。

§５　平成２５年度（平成２５年４月～平成２６年３月）重点施策の点検・評価

（１）確かな学力の向上

No.	事　業　名	事業の現況等	実績及び今後の取り組み	達成度	評価担当
1	教育施策方針策定事業	教育施策の方針を策定し、学校教育について連携を図りながら総合的に推進する。	当年度は、県の施策が若干改訂されたので、整合をとるため改訂した。	A	学務課
2	特別支援教育支援員配置	発達障害・情緒障害等の教育的支援を必要とする児童・生徒に対し学校生活を送る上で必要な支援を行う。	町内小学校に３名ずつ９名中学校に１名ずつ２名、合計１１名配置した。 継続し、適切な指導及び必要な支援を行っていく必要がある。	A	学務課
3	学力向上支援員配置	中学校で学力維持・向上のための学習支援を行う。	英語１名ずつを藤崎中及び明徳中へ配置した。 継続し、適切な指導及び必要な支援を行っていく必要がある。	A	学務課

（２）人間尊重を基調とした道徳性の育成

No.	事　業　名	事業の現況等	実績及び今後の取り組み	達成度	評価担当
1	道徳の時間の充実	各学年における適切なテーマの設定及び全教科との連携を図る。 年間指導計画に基づき、「心のノート」を活用する。	各学年の発達段階に即した指導が実践され、思いやる心、感謝の心を中心に道徳性が培われてきている。 今後も計画的・組織的な取り組みを図る。	B	学務課
2	命を大切にする心を育む教育活動における道徳講話	「自己肯定感」を育む講話と、講話後のワークショップを行うことにより、自他を愛する心や命を大切にする心を育む。 （藤崎中学校）	①全生徒を対象に道徳講話を実施。 ②1学年（70名）を対象に11月と12月にワークショップを実施。 講師　元弘前市立朝陽小学校校長　齋藤　厚氏	A	学務課
3	社会福祉体験学習	特別養護老人ホーム、保育所訪問及び交流活動を行う。 町社会福祉協議会の指導・支援により車椅子・手話体験、高齢者疑似体験等を行う。	お年寄りや幼児に思いやりの心を持って交流することができた。人間的な成長をめざし、今後も指導を継続していく。	A	学務課
4	赤ちゃん、幼児ふれあい体験学習	将来、家庭を築き子どもを産み育てる中学生に対し、乳幼児と触れ合う機会を作り、生命の尊さや人を思いやる心を養う。 （明徳中３年生） （藤崎中３年生）	生命の尊重や思いやりの心が育まれている。 今後も貴重な体験を継続させたい。	A	学務課

No.	事　業　名	事業の現況等	実績及び今後の取り組み	達成度	評価担当
5	交通安全教室	安全な歩行や正しい自転車の乗り方、交通ルールについて指導する。	正しい歩行や横断の仕方、安全な自転車の乗り方の実技を行った。 今後も交通安全の意識を高めていきたい。	A	学務課
6	避難訓練	火事・地震・不審者対応、授業時間、休み時間など様々な場面を想定して行う。	災害が発生したときの心構えや態度、避難経路の確認、非常扉の留意点等の学習及び訓練を通して、命の大切さを学ばせている。 今後も継続していきたい。	A	学務課
7	普通救命講習会	呼吸・心臓停止時の早急な処置の必要性を理解させるとともに、心肺蘇生法とＡＥＤの使用方法を身につけさせる。 (藤崎中２．３年生)	３学年は７月、２学年は１０月、ともに４時間枠で消防署員を講師に実施した。 対象を拡大し、継続して実施したい。	A	学務課
8	薬物乱用防止教室	薬物乱用、喫煙、飲酒等が人体に及ぼす心身の害と社会的な悪影響についての正しい知識と理解を深める。（藤崎中）	１２月、全生徒を対象に、養護教諭を講師に実施した。 今後、明徳中でも開催し、継続して実施したい。	A	学務課

（３）青少年の健全育成といじめの防止

No.	事　業　名	事業の現況等	実績及び今後の取り組み	達成度	評価担当
1	藤崎町子ども会リーダー研修事業 （生涯学習課）	単位子ども会の小学４～６年生会員等を対象とした研修会を年１回実施。	※中止 （集中豪雨により、施設で土砂崩れ） 期日　平成２５年８月１９日（月）～２１日（水） 場所　秋田県立大館少年自然の家 内容を検討しながら、今後も継続して取り組む。	―	生涯学習課
2	少年交流事業 （生涯学習課）	東日本大震災で被災した岩手県田野畑村の小学生と当町小学生との交流活動を実施 主催　児童交流事業実行委員会	期日　平成２５年７月２９日（月）～７月３１日（水）２泊３日 場所　岩手県下閉伊郡田野畑村内 参加者　藤崎町立小学校5学年児童（30名）　同上教職員及び教育委員会職員（7名） 田野畑小学校5学年児童22名 同上教職員及び教育委員会職員（7名） 内容　津波学習、サッパ船アドベンチャーズ、交流会、漁業体験、北山崎見学ほか 訪問児童にとって、貴重な体験になるとともに、相互の交流を図ることができた。 今後も継続して取り組む。	A	生涯学習課

No.	事　業　名	事業の現況等	実績及び今後の取り組み	達成度	評価担当
3	通学合宿 （藤崎公民館）	小学５～６年生を対象に、町文化センターに宿泊しながら通学を実施	期日　平成２５年９月２６日（木）～９月２８日（土） ２泊３日 参加者　１５名 子どもの自立心・協調性を育むとともに、地域ボランティアとの交流が図られた。長期継続事業のため、プログラムの見直しを検討する。	A	生涯学習課
4	第７回藤崎だがしや楽校 （藤崎公民館）	だがしや、昔の遊び、ニュースポーツ等の体験コーナーをボランティアスタッフの参加を得ながら開設	期日　平成２５年７月１４日（日） 場所　藤崎町文化センター、スポーツプラザ藤崎 参加者　幼児３６名、小学生１４７名、保護者７９名　計２６２名 内容　だがしや、昔の遊び、ニュースポーツ等　２３コーナー 新規プログラム、運営体制などを検討する。	A	生涯学習課
5	藤崎町成人式 （常盤公民館）	例年８月１５日に実施 ①式典 ②新成人交流会 主催　成人式実行委員会	期日　平成２５年８月１５日（水）午後2時 場所　藤崎町文化センター ①式典（大ホール） 出席者　１３０人 ②新成人交流会 実行委員の募集方法など改善しながら、今後も継続して実施する。	A	生涯学習課
6	学年・学級経営の充実	全教育活動の中で、自己存在感をもたせる場、自己決定の場、共感的人間関係を育成する場を意識的に設定しながら取り組んでいる。	積極的な生徒指導の機能を生かしながら、子ども達の健全育成に努めた。いじめ防止等のため的確な児童理解のもと、仲間意識を高め自己実現ができる学級経営に努めた。	A	学務課
7	情報交換促進事業	毎週定期的に子ども達の情報交換を行い、全校体制で児童・生徒の理解に努めている。	全教職員が共通理解の上に立って指導を進めることにより、より効果的な指導ができる。 今後も情報を共有し合い、全校一丸となって取り組んでいきたい。	A	学務課
8	教育相談週間事業	児童理解を深め、問題行動の早期発見・早期解決を図るとともに、未然防止に努める。	相談前にアンケートを実施し、それを資料にして活用している。教師と１対１で会話することにより、悩みや新たな一面が発見され指導に役立っている。また、保護者との面談により、現状の把握に役立っている。	A	学務課

No.	事　業　名	事業の現況等	実績及び今後の取り組み	達成度	評価担当
9	一礼の日協力事業	毎月１０日を一礼の日として「あいさつ・交通安全運動」を目的に実施している。	小･中学生も地域の一員として協力しており、その自覚と望ましい態度の育成が図られた。 今後も継続して協力していきたい。	A	学務課

（4）安全・安心で質の高い教育環境の整備

No.	事　業　名	事業の現況等	実績及び今後の取り組み	達成度	評価担当
1	常盤小学校校舎改築事業	校舎の安全確保と教育環境の整備を図る。	工事完了	A	学務課
2	常盤小学校屋内運動場改築事業	屋内運動場の安全確保と教育環境の整備を図る。	工事完了	A	学務課
3	常盤小学校グラウンド整備外工事	グラウンドの暗渠排水及び外構整備することにより教育環境の整備を図る。	工程表に基づき順調に進捗している。	C	学務課
4	常盤小学校プール改築外工事	プールを新設することにより教育環境の整備を図る。	工程表に基づき順調に進捗している。	D	学務課
5	明徳中学校屋根塗装改修工事	屋根塗装の消耗劣化により、塗装改修工事を実施し、教育環境の整備を図る。	工事完了	A	学務課
6	藤崎中央小学校外構等整備工事	敷地外周の外構等整備工事を実施し、教育環境の整備を図る。	工事完了	A	学務課
7	小中学校空調設備整備工事（藤崎小学校）	工事を実施することにより学校環境衛生の改善を図り、教育環境の充実に努める。	工事完了	A	学務課
8	小中学校空調設備整備工事（藤崎中央小学校）	工事を実施することにより学校環境衛生の改善を図り、教育環境の充実に努める。	工事完了	A	学務課
9	小中学校空調設備整備工事（明徳中学校）	工事を実施することにより学校環境衛生の改善を図り、教育環境の充実に努める。	工事完了	A	学務課
10	小中学校空調整備工事（藤崎中学校）	工事を実施することにより学校環境衛生の改善を図り、教育環境の充実に努める。	工事完了	A	学務課
11	小中学校各種県大会等出場費補助事業	各種県大会等に係る出場費を補助する。	定められた基準に基づき補助金を交付する。 補助基準の改定が必要である。	A	学務課
12	小中学校修学旅行補助事業	保護者の負担軽減を図る。	定められた基準に基づき補助金を交付する。 段階的に補助割合を低減し最終的には廃止する。	A	学務課

No.	事　業　名	事業の現況等	実績及び今後の取り組み	達成度	評価担当
13	奨学金貸与事業	藤崎町に居住する者の子弟で優秀な学生、生徒であって、経済的理由により修学困難である者に対して奨学金を貸与し、有用な人材を育成することを目的とする。	高等学校　月額　10,000円 高等専門学校　月額　15,000円(短期大学を含む。) 大学　　月額　25,000円 大学院　月額　40,000円 償還を滞納し続ける者への対応策を改めて検討する必要がある。	A	学務課
14	私立幼稚園就園奨励費補助事業	私立幼稚園の設置者が、当該幼稚園に在園する園児の保護者に対し、入園料及び保育料を減免する場合に、藤崎町が定める範囲において補助を行う。	家庭の所得状況に応じて保護者の経済的負担が軽減されている。 幼稚園教育の振興策として国の基準に合わせて継続していくことが必要である。	A	学務課
15	要保護及び準要保護児童・生徒就学援助	学校教育法第19条に基づき、経済的理由により就学困難と認められる児童・生徒の保護者に対し就学援助を行う。	要保護児童・生徒（生活保護受給者）には、修学旅行費、準要保護児童・生徒には学用品費・修学旅行費・学校給食費・医療費を就学援助費として支給した。 近年、経済状況の不安定さや離婚数の増加による母子家庭の急増などにより、準要保護認定者数も増加傾向にある。増え続ける準要保護認定者数に対応できるだけの財源の確保が困難になることも予想されることから、認定基準の見直し等今後の課題も多いが、教育の機会均等の実現を図るため、今後も継続が必要である。	A	学務課

（５）国際化・情報化に対応する教育の推進

No.	事　業　名	事業の現況等	実績及び今後の取り組み	達成度	評価担当
1	第１８回国際交流凧フェスタinふじ崎2013（生涯学習課）	外国人カイトマスターを招待しての「国際交流凧揚げ大会」をはじめとして、様々な国際交流活動を実施 主催　藤崎町国際交流協会、日本の凧の会津軽カイト支部 後援　藤崎町教育委員会、（特非）藤崎町文化協会	期日　平成２５年４月２５日（木）～４月２９日（月） 内容 ①小学校児童との交流会（藤崎小・藤崎中央小） ②日本の文化・伝統体験交流会 ③藤崎町内文化散策（留学生） ④国際理解講座「聞いてみよう　世界の暮らし」 ⑤第１５回陸上自衛隊第９音楽隊ふれあいコンサート ⑥陸上自衛隊第９音楽隊による中学校吹奏楽部指導（藤崎中・明徳中） ⑦国際交流凧揚げ大会	A	生涯学習課

No.	事　業　名	事業の現況等	実績及び今後の取り組み	達成度	評価担当
2	ＡＬＴの活用事業	ＡＬＴを雇用し、藤崎中学校及び明徳中学校に配置するとともに、小学校、保育所（園）、幼稚園に派遣し、授業援助を行う。	日本人教師とのチームティーチングによる授業の展開により、英語でのコミュニケーション能力は徐々に高まり、ＡＬＴに対する抵抗感も少なくなり、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が育成されてきている。	A	学務課
3	パソコン及び電子黒板の活用による情報教育	情報収集と情報選択	学習や新聞づくりに効果的に生かすことができた。また電子黒板を活用した授業により意欲が高まった。	B	学務課

（６）人材育成・キャリア教育の推進

No.	事　業　名	事業の現況等	実績及び今後の取り組み	達成度	評価担当
1	進路指導の充実	生徒の発達の段階を考慮した勤労観・職業観の育成を図る。	近隣の県立、私立高等学校併せて２４校の体験入学、高等学校説明会に参加。	A	学務課
2	職場体験学習	地域の事業所・施設での職場・福祉・社会体験学習を行う。	人間関係形成能力や将来設計能力の育成につながっている。 受け入れ企業の充実と組織的・系統的な取り組みを図っていきたい。	A	学務課
3	栽培活動	植物の栽培を通して勤労の尊さを学ぶ。	学年によって取組方に温度差があった。	B	学務課
4	チャレンジお米作り	実体験することにより、よりよい生き方を考えさせる。	保護者や地域の方々の支援・協力により、田植え、稲刈り、脱穀等を体験することができた。	A	学務課
5	クリーンタイム啓蒙事業	体験活動を通じて勤労の尊さを味合わせ、奉仕の心を育てる。	学区内の通学路のゴミ拾いを積極的に行い、環境保護や奉仕活動の大切さを学んだ。	A	学務課
6	キャリア教育	児童一人一人の勤労観や職業観を育てる。	学年単位で校外学習や体験的な活動を取り入れたり、外部から講師を招いて出前授業を行った。 体験を通して、児童が将来の夢や今の自分を見つめなおす機会となった。	A	学務課
7	藤崎町出前講座 （生涯学習課）	町内の団体・サークルの集会等に講師を派遣 ①町各課担当職員による所掌事務についての説明 ②ボランティア登録簿「藤崎町生涯学習指導者人材バンク」からの講師派遣	①１件 ・介護保険（福祉課）１件 ②０件 事業内容、周知方法の見直しを図る。	D	生涯学習課

（７）生涯学習の推進

No.	事　業　名	事業の現況等	実績及び今後の取り組み	達成度	評価担当
1	生涯学習だより「ふれあいライフ」 （生涯学習課）	生涯学習情報を「広報ふじさき」のなかに１ページ分掲載（毎月１日発行）	年１２回掲載 事業予告、報告に留まらない情報提供を心がけ、今後も継続する。	A	生涯学習課
2	藤崎町民生きがいセミナー （生涯学習課）	各方面で活躍する方を講師として、自らを高めるヒントを得る講演会として実施	期日　平成２６年３月９日（日） 場所　藤崎町文化センター大ホール 講師　お山のおもしえ学校登山ガイド　米坂恵子氏 参加者　１５０名 開催内容、時期等の見直しを図る。	A	生涯学習課
3	藤崎町生涯学習推進本部・生涯学習推進協議会 （生涯学習課）	生涯学習振興法の趣旨を踏まえ、藤崎町の生涯学習推進体制を整備することを目的として、生涯学習推進本部等を運営する。 ①藤崎町生涯学習推進本部 ②藤崎町生涯学習推進協議会	①藤崎町生涯学習推進本部未開催 ②藤崎町生涯学習推進協議会未開催 次年度より、新たな基本計画期間に入るため、基本構想・基本計画の見直しを行い、新計画等の決定を目指す	E	生涯学習課
4	社会教育関係団体等の活動の支援 （生涯学習課）	社会教育関係団体等が行う事業及び運営に対し助成を行い、活動の振興を図っている。	社会教育関係団体（１２団体）に対し助成を行い、活動の振興を図った。 今後も継続して、活動の振興を図る。	A	生涯学習課
5	藤崎いきいき生活大学 （常盤公民館）	住民一般を対象に、趣味・教養を中心とした講座を展開。	期間　平成２５年６月～平成２６年３月 場所　常盤生涯学習文化会館、藤崎町文化センター　他 内容　開講式、講座（１５講座）、閉講式 今後も生涯学習の中核の場として、継続していく。	A	生涯学習課
6	文化施設の維持管理 （生涯学習課）	住民が身近に文化に親しむことができるようにするとともに、文化活動の推進が図られるよう、施設の整備を行う。	①常盤生涯学習文化会館・常盤公民館 ②白鳥観察施設「こうやまるくん」 ③唐糸御前史跡公園 継続して施設整備に努める	A	生涯学習課
7	文化施設の維持管理 （（特非）藤崎町文化協会）	住民が身近に文化に親しむことができるようにするとともに、文化活動の推進が図られるよう、施設の整備を行う。	①藤崎町文化センター・藤崎公民館 ②ふれあいずーむ館・図書館 ③ふるさと資料館あすか 継続して施設整備に努める	A	生涯学習課

（８）生涯スポーツの推進

No.	事　業　名	事業の現況等	実績及び今後の取り組み	達成度	評価担当
1	チャレンジデー２０１３ （生涯学習課）	世界同日開催のスポーツイベント「チャレンジデー」に町として継続参加している。（６年目）	期日　平成２５年５月２９日（水）　0:00～21:00 場所　藤崎町内 参加者　10,696名（参加率67.4%） 対戦　秋田県三種町 成績等　取得メダル：金 プログラム ・生き生きけんこう体操 ・初心者向けヨガ ・グラウンドゴルフ大会 ・野球教室（藤崎中学校） ・ミニバスケット教室 ・チャレンジカップ大会 ・ソロダンスコンテスト 町民の健康寿命の向上を目的に、継続して実施していく	A	生涯学習課
2	軽スポーツ巡回指導 （生涯学習課）	町内の各種団体からの要請に応じ、スポーツ推進委員を派遣し、軽スポーツの指導等を行う。	年５回実施 ・内容　体力測定、キンボール、ユニカール 延べ参加者数　162名 健康への関心を高め、軽スポーツの普及にも貢献している。今後も継続する。	A	生涯学習課
3	第２１回青森県民駅伝大会（県事業） （生涯学習課）	県レベルの駅伝大会へ、例年町として参加している。	期日　平成２５年９月１日（日） 場所　青森市 成績　トータルタイム　1時間57分27秒 総合19位・町の部10位	A	生涯学習課
4	第６８回市町村対抗青森県民体育大会（県事業） （生涯学習課）	県レベルの競技スポーツイベントへ、例年町として参加している。	期日　平成２５年８月１７日～１８日（日）（主開催期日） 主会場　中南地域 成績 ア　総合　町村の部8位 イ　競技別総合・種別優勝 バドミントン（総合） 今後も選手強化に努め、上位入賞を目指す。	A	生涯学習課
5	スポーツ教室・講習会、スポーツイベント・大会の開催（社会体育事業） （（特非）藤崎町体育協会）	住民の生涯にわたるスポーツ活動を推進するため、スポーツ教室や講習会、スポーツイベントやスポーツ大会を開催する	①藤崎町民体育大会　３種目 ②スポーツ教室・講習会　２事業 ③スポーツイベント・大会　１４事業 継続して推進する。	A	生涯学習課
6	スポーツ教室・講習会、スポーツイベント・大会の開催（社会体育事業） （ふじさきいきいきスポーツクラブ）	住民の生涯にわたるスポーツ活動を推進するため、スポーツ教室や講習会、スポーツイベントやスポーツ大会を開催する	①スポーツ教室・講習会　１６事業 ②スポーツイベント・大会　３事業 継続して推進する。	A	生涯学習課

No.	事　業　名	事業の現況等	実績及び今後の取り組み	達成度	評価担当
7	体育施設の維持管理 （生涯学習課）	住民が身近にスポーツに親しむことができるようにするとともに、競技水準の向上を図ることができるよう、施設の整備を行う。	①スポーツプラザときわ ②藤崎相撲場 ③常盤相撲場 継続して施設整備に努める。	A	生涯学習課
8	体育施設の維持管理 （（特非）藤崎町体育協会）	住民が身近にスポーツに親しむことができるようにするとともに、競技水準の向上を図ることができるよう、施設の整備を行う。	①スポーツプラザ藤崎 ②藤崎町ライフコート平川 ③藤崎アップル球場 ④藤崎町農業者トレーニングセンター 継続して施設整備に努める。	A	生涯学習課

（９）学校・家庭・地域の連携強化による社会全体の教育力向上

No.	事　業　名	事業の現況等	実績及び今後の取り組み	達成度	評価担当
1	藤崎町家庭教育支援事業 （生涯学習課）	①家庭教育支援チームの設置 ②家庭教育の学習機会（講座）の提供	①家庭教育支援チーム8名 ・相談コーナーのの定期開設 ・行事、イベントへの出張、相談コーナーの開設 ・広報誌の発行 ・子育てエピソード集の刊行 ②家庭教育講座の開催 （年5回） 事業内容を見直しながら、継続実施する。	A	生涯学習課
2	放課後子ども教室推進事業 （放課後子どもプラン推進事業） （生涯学習課） ※国・県補助事業	放課後や週末等に、子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の参画を得て、勉強やスポーツ・文化活動等の取組を実施。	①放課後子ども教室の実施 ・わんぱく広場 36日 ・子どもふれあい教室 31日 ※延べ参加者数　1,359人 （わんぱく教室852人、ふれあい教室507人） ②藤崎町放課後子どもプラン運営委員会の設置 ・年間開催回数　　３回 ③コーディネーターの配置 2名 新しい活動メニューの開発を心がけ、継続して実施する。	A	生涯学習課
3	藤崎町学社融合事業 （生涯学習課）	地域の人材を活用した学校教育事業に対し、講師招聘に係る謝金を教育委員会で負担。 ※（小学校３校、中学校２校が対象）	小学校２校、中学校２校で実施（計７事業） 地域の人材活用の機会となっている。 長期事業のため、内容の見直しを行う。	A	生涯学習課

No.	事　業　名	事業の現況等	実績及び今後の取り組み	達成度	評価担当
4	郷土クラブ （生涯学習課）	藤崎町指定無形文化財「菊様の舞」「松助の踊り」の児童への伝承活動実施校に対し、指導者謝金を教育委員会で負担 ※指導者：藤崎町芸能文化協会	①藤崎小学校郷土クラブ 日程　平成２５年６月～１１月　計１２回 参加者　４～６年　計１２名 ②藤崎中央小学校郷土クラブ 日程　平成２５年６月～１１月　計１１回 参加者　４～６年　計７名 事業内容の見直しを行いながら、継続して実施する。	A	生涯学習課
5	思春期セミナー （生涯学習課）	事業対象中学校に対し、講師謝金を教育委員会で負担	実施校　藤崎中学校 期日　平成２５年７月３日 場所　藤崎中学校体育館 参加者　藤崎中学校２年生８６名（保護者５名） 長期事業のため、内容の見直しを行う。	A	生涯学習課
6	季節のおはなし会等 （藤崎町図書館）	児童向けの季節のおはなし会及び図書館延長デーを実施 対象：児童・一般	季節のおはなし会（計４回） 図書館延長デー（計１回） 実施　　計２１６名参加 住民が図書に親しめる環境づくりに貢献している。 継続して推進する。	A	生涯学習課
7	定例おはなし会 （藤崎町図書館）	児童向けの読み聞かせ事業「定例おはなし会」を開催	ア　おはなしのとびら ４月～３月　計８回１９４名 児童が読書に親しめる環境づくりに貢献している。 継続して推進する。	A	生涯学習課
8	おはなしの出前 （藤崎町図書館）	町内の保育所（園）で読み聞かせ事業を開催	ア　おはなしおさんぽ ５月～１０月　計８回 ３６２名 乳幼児が読書に親しめる環境づくりに貢献している。 継続して推進する。	A	生涯学習課
9	ブックスタート （藤崎町図書館）	乳児健診の機会を活用し、乳児にふさわしい絵本の紹介等を実施 対象：乳児親子	ア　おひざでだっこ ４月～２月　計６回　８９組 乳児と本との出会いのきっかけづくりを行っている。 継続して推進する。	A	生涯学習課
10	図書資料等の配本 （藤崎町図書館）	町内の施設等に図書資料等の配本を実施	①一般閲覧用　１，２３０冊 ②朝の読書活動推進用（藤崎小学校・藤崎中央小学校・常盤小学校）　１，１４０冊 ③ブックスタート用２６５冊 読書活動の環境づくりが推進されている。 継続して推進する。	A	生涯学習課

(10) 小中連携事業の推進

No.	事　業　名	事業の現況等	実績及び今後の取り組み	達成度	評価担当
1	藤崎町小中学校連携協議会全体研修会	春季研修会：専門部会・組織会 夏季研修会：教育講演会 秋季研修会：公開授業・各部会情報交換	中学校区内での情報交換により、課題の共有化が図られ、課題解決のため共同で取り組むことができた。 教職員（中学校）が町一礼の日に学区小学校を訪問し、あいさつ交流を実施した。 今後も地域課題解決のため、随時連携していきたい。	A	学務課

(11) 芸術文化活動の推進

No.	事　業　名	事業の現況等	実績及び今後の取り組み	達成度	評価担当
1	常設展・企画展 （常盤ふるさと資料館あすか）	①常設展（資料館収蔵資料）の開催 ②企画展の開催	①常設展 企画展機関以外に開催 （高木志朗、円平仁） ②企画展 年８回開催 ③特別企画展 年１回開催 ④その他の展示会（貸館） 年３回開催 入場者数 ５，２３９人（①～④） 優れた芸術鑑賞の機会となっている。 継続して実施する。	A	生涯学習課
2	文化センター自主事業 （藤崎町文化センター）	①小学校鑑賞事業 ②中学校鑑賞事業 ③一般鑑賞事業	①小学校鑑賞事業 年１回 児童・保護者　７９９名 ②中学校鑑賞事業 年１回 生徒．・保護者　４２４名 ③一般鑑賞事業 年２回　１，４００名 優れた芸術鑑賞の機会を提供している。 継続して推進する。	A	生涯学習課
3	文化芸術団体等の活動の支援 （藤崎町文化センター）	①ウィー少年少女合唱団	①ウイー少年少女合唱団 ア　例会（練習）土曜日 イ　グループホーム訪問 町内２事業所 ウ　発表会（クリスマス） 町内では貴重な少年少女の合唱サークルとなっている。 継続して支援する。	A	生涯学習課

No.	事　業　名	事業の現況等	実績及び今後の取り組み	達成度	評価担当
4	わら細工	地域の伝統工芸の制作を通して、地域の歴史やしきたりを学ぶ。	作品制作や異世代交流を通して、コミュニケーション能力を高め、郷土に愛着と誇りを持たせることにつながっている。	A	学務課

(12) 歴史・文化の継承

No.	事　業　名	事業の現況等	実績及び今後の取り組み	達成度	評価担当
1	青森県文化財パトロール事業（県事業） （生涯学習課）	青森県文化財保護指導員による町内文化財のパトロールを実施	青森県文化財保護指導員 藤崎区域1名、常盤区域1名 対象文化財 国・県指定文化財、周知の埋蔵文化財包蔵地 パトロール　各地区１日実施 継続して実施する。	A	生涯学習課
2	徳下八幡宮一位の木樹勢回復措置業務 （生涯学習課）	藤崎町天然記念物「徳下八幡宮一位の木」の樹勢回復を図るため、樹木医による調査・診断、治療を行う。	①調査・診断　１回実施 ②治療　１回実施 継続して実施する。	A	生涯学習課
3	文化財関連施設の維持管理 （生涯学習課）	県・町指定文化財関連施設の維持管理を実施	①藤崎町白鳥観察施設「こーやまるくん」 ②藤崎町唐糸御前史跡公園 ③藤崎町年縄伝承館（指定管理者：藤崎町年縄奉納行事伝承保存協議会） 継続して実施する。	A	生涯学習課
4	菊様の舞・松助の踊りの伝承活動（郷土クラブ）（再掲） （生涯学習課）	藤崎町指定無形文化財「菊様の舞」「松助の踊り」の児童への伝承活動実施校に対し、指導者謝金を教育委員会で負担 ※指導者：藤崎町芸能文化協会	①藤崎小学校郷土クラブ 日程　平成２５年６月～１１月　計１２回 参加者　４～６年　計１２名 ②藤崎中央小学校郷土クラブ 日程　平成２５年６月～１１月　計１１回 参加者　４～６年　計７名 事業内容の見直しを行いながら、継続して実施する。	A	生涯学習課
5	藤崎町年縄奉納行事伝承保存事業 （生涯学習課）	町内の年縄奉納行事の継承と啓蒙のため事業を実施	わら工芸研修の実施 後継者の育成（小中学校年縄体験学習） はやし活動の育成　ほか ※町補助事業（補助対象団体：藤崎町年縄奉納行事伝承保存協議会） 継続して実施する。	A	生涯学習課
6	ながしこ合同運行 （藤崎公民館）	藤崎の山車運行行事「ながしこ」の合同運行を実施	平成２５年８月１１日（日） 藤崎町役場周辺 ５団体参加 運行場所の変更とともに、初の試みとしてステージイベントを併催 今後も内容の検討を重ね、継続して実施する。	A	生涯学習課

§６　教育に関する学識経験を有する外部の方の意見

Ⅰ　教育委員会の活動状況について

教育は「人づくり」である。藤崎町教育委員会では、平成２５年度藤崎町教育施策の方針に「新しい時代を主体的に切り拓く人づくりを目指す」と掲げ、その目標達成のために教育委員会活動を展開しています。

１．教育委員会会議は、定期的且つ必要に応じて開催され、審議内容は、教育の向上を図るために必要な事案となっています。

２．管内小学校３校、中学校２校に対する視察や学校訪問などは、定期的に計画的に実施し、成果をあげているので今後とも継続し、学校等の現場と意見交換をしながら財政的・人的支援を行っていただきたいと思います。

３．中南地区ばかりでなく、県及び東北の各協議会において他市町村との交流や意見交換を進め、幅広い視野から教育のありかたを検討し、研修会にも積極的に参加し、自己研鑽に努めています。
以上のことから、教育委員会の活動は、適切に進められていると判断します。

４．残念なことに、藤崎町教育委員会には指導主事が配置されておりませんので、学校教育充実のために今後検討をお願いします。

Ⅱ　学校教育全般について

学校教育の基本的な方針として「個を生かし生きる力と夢をはぐくむ学校教育」を目標としています。

１．「人づくり」は、確かな学力向上が基本と考えます。
分かる授業、楽しい授業の創造のため、校内研修や授業研究が大事です。
そのためには、授業改善に取り組むことが重要です。
教育現場では、教育委員会の支援が大きいと考えます。
また、今後は家庭学習・キャリア教育などの重要性が増すものと考えられます。

２．平成２５年度は、教育環境の整備に重点をおいて進めています。

常盤小学校改築事業も順調に進捗しています。各学校とも地域の中核施設として安心安全な教育環境の整備に留意していることは評価できます。

ハード面は充実してきたので、今後は、新しい社会情勢に対応できる施設設備の充実に努めていただきたいと思います。

3．現在の経済情勢などから修学が困難な家庭に対する支援も必要であり、今まで継続して行われてきた補助事業や援助事業などは、継続する必要があると考えます。

4．不登校やいじめ等、児童生徒の心の問題について、今後とも関係者が連携し、早期の発見・把握・対応に努め、学校全体として問題解決に当たるようお願いします。

5．学力向上支援員、特別支援教育支援員及び英語指導助手の小・中学校への配置を行って学校教育充実が図られるとともに、生徒指導、道徳教育、環境教育、保健・安全等の今日的課題に重点をおいた指導・支援がなされていることも評価できます。

今後も支援を継続するよう配慮すると共に、広く保護者や町民に対しても理解啓発に努力していただきたいと思います。

6．教員の資質・能力の向上に向けた研修と学習の機会が、今まで以上に必要と考えます。

「分かる授業」「楽しい授業」を目指して個々の教員が児童・生徒理解に努め、その実態を把握し、それに対応した指導ができるようにすべきであると考えます。

教員個々の研修は勿論ですが、教員の全体的な資質向上を図るための校内外での研修の充実が重要であり、教育委員会の支援が必要と考えます。

また、常に授業改善に努め、児童・生徒の興味・関心を引き付ける授業の工夫・充実を図り、達成感を味わえるようありたいものと思います。

「仮説・体験学習授業」などでは、生き生きとした授業展開ができますので取り組んで見ることも必要かと思います。

7．義務教育においては、小中連携が学習活動のみならず、重点施策実現にも大きな影響を与えます。学力の向上はもちろんですが、学校における教育活動全般に亘って成果が期待できます。

小中連携事業が今後も継続するよう願っています。

Ⅲ　社会教育全般について

社会教育については、生涯学習実施計画の策定、青少年教育、成人教育、家庭教育等、幼児から高齢者に至るまでのさまざまな層の町民に対する活動が展開されています。

平成２５年度の藤崎町教育委員会では、社会教育の重点施策として「生涯学習の推進」「生涯スポーツの推進」「学校・家庭・地域の連携強化による社会全体の教育力向上」「芸術文化活動の推進」「歴史・文化の継承」をあげています。

１．生涯学習の推進

生涯学習は、町民の生きがいある暮らしの希求、価値観の多様化により、町民から寄せられるニーズが質量とも増大の一途をたどり、さらに幅広い学習機会の提供が求められるものと考えられます。

これらのニーズに応えた取り組みが展開されるように、事業の企画運営については、生涯学習推進本部・生涯学習推進協議会を中心として、さらなる充実を期していただきたいと思います。

「生涯学習だより」の発行、「生きがいセミナー」の実施、「社会教育関係団体の活動支援」等に対する助成など積極的に行っている点は高く評価されます。特に「いきいき生活大学」については、今後ニーズの高まりが予想されるので、魅力ある内容づくりやＰＲ方法を検討され、新たな参加者を開拓していただきたいと思います。

２．生涯スポーツの推進

健康志向の高まりは、生活様式の変化に伴いこれまでにない勢いを見せていることから、町民の健康維持や体力づくりを支える各種事業は、これからも益々需要が高まることが予想されます。

これらのニーズに応えるため、安心して利用できるようにスポーツ施設の維持管理に努めるとともに、誰でも気軽に参加できる身近なスポーツ活動の場・機会を充実させていくことも必要です。

「チャレンジデー」の参加定着、「軽スポーツ巡回指導」の実施、「第２１回青森県民駅伝大会」の参加、「第６８回市町村対抗県民体育大会」への参加、「スポーツ教室・講習」事業の開催、「体育施設の維持管理」等には、積極的に対応している点は評価できます。

一方、競技スポーツ活動を支える環境の整備・事業の継続とともに、技術

の向上に合わせた継続的な支援や条件整備を行うことも必要と思います。

藤崎町体育協会の充実・発展にも支援が必要であり、各競技団体では、対外試合等に参加する選手養成が急務と考えます。また町の代表として参加するには、勝負強さも望まれ、そのための強化練習は、時間をかけ継続して行うことが大事であると思います。

練習の密度の濃さが結果として出てきますので、競技スポーツの指導者の支援も教育委員会の大事な使命と考えます。

３．学校・家庭・地域の連携強化による社会全体の教育力向上

多様化する家庭環境の現状では、「藤崎町家庭教育」「放課後子ども教室」「藤崎町学社融合」の事業の推進、「郷土クラブ」「思春期セミナー」「おはなし会」の実施などきめ細かに積極的に活動していることは高く評価されます。

４．社会教育に於ける小中連携事業の推進

町内５校で連携し、リーダー研・少年交流事業・通学合宿などを開催し、情報交換をして、学力向上、非行防止、いじめや不登校児童・生徒への対応を協議し、課題解決のために取り組んでいることは高く評価されます。

これからも事業の継続をお願いしたいと思います。

５．芸術文化活動の推進

文化センターは、自主事業・文化芸術団体・ウイー少年少女合唱団等の活動支援を行い、町民はじめ津軽地区の多くの文化団体等が利用しており、芸術文化の拠点として役割を果たしている点は高く評価されます。

「常盤ふるさと資料館あすか」の「常設展」「企画展」は、県内外から高く評価され、多数の鑑賞者が来館していることは誇りにして良いと考えます。町内の文化芸術団体ばかりでなく、各地からの利用者もあり、幅広く活動していることは高く評価されます。

今後とも利用促進が図られるよう支援していただきたいと思います。

６．歴史・文化の継承

「藤崎町年縄奉納行事伝承保存事業」「菊様の舞・松助の踊り」の伝承活動をはじめ、歴史・文化の継承に努力していることは高く評価されます。

今後とも事業の継続に努めると共に、文化団体の育成、歴史資料の収集・調査、文化財の保存・保護等の多彩な活動により町民の芸術文化意識の高揚、伝統文化や歴史に対する認識を更に深めるようにお願いしたいと思います。

市町村教育委員会こそ、実態を把握して地域の実情に即した教育行政ができるものと考えます。

今後は、更に教育及び教育行政の充実・発展のための施策について十分検討を重ね、信頼される教育委員会になるように、教育委員はじめ教育関係者は努めなければならないと考えます。

専門的な分野において深めなければならない場合は、外部から学識経験を有する者の知見を活用することも必要と思われます。

「教育は人づくり」、子どもたちが主役であるという認識の上に立って教育行政を担う教育委員会であれば、市町村教育委員会の存続の意義は、強まることはあっても弱まることはないと考えます。